

令和5年7月12日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

今回の会議も前回同様、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、従来のような会議は中止し、当日配布予定であった資料を出席予定の皆様へ送付し、ご覧になって頂いた上でご意見ご質問を頂戴し、それを取りまとめることで会議の開催に変えた。

施設名：デイサービス どんちっち

施設種類：地域密着型通所介護 通所型サービス

会議開催予定だった日時：令和5年4月8日（土） 17時～

開催場所：デイサービス どんちっち

出席予定者：

7名

（人数）

利用者	1人	有識者等	1人
利用者家族	1人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2人

送付した資料

①会議のレジュメ

1. どんちっちの活動状況（10月～3月）
2. 2月の利用実績（昨年同月との比較）
3. 苦情、事故、ヒヤリハットの報告
4. 現在、今後の運営について
 - ・現在の職員数 管理者1 介護職員(常勤2 非常勤5) 看護職員0
 - ・次回会議の開催予定（令和5年9月予定）

②どんちっち便り 直近の秋号・冬号

③事故、ヒヤリハットの報告書

【意見・質問等】

（高齢者福祉課より）

○ヒヤリハットの発生に対する改善策、いつも丁寧で細やかな配慮が感じられます。中でも、転倒後に意識消失し始めた利用者さんへの対応は迅速だったと思います。事故発生当時に対応されていた職員さんは戸惑いもあったことと思いますが、救急車が到着するまで声をかけ続けた対応も適切でした。ありがとうございます。

『どんちっち便り』も事業所の様子が分かりやすくまとめてあり、利用者さんのご家族も安心されていることと思います。

新年の挨拶にもありましたが、利用者の皆さんが自分の家族を心配される姿、家族に感謝される姿をこれからも大切にしていきたいですね。

新型コロナウイルス感染症により、生活スタイル、家族とのかかわり方など様々なことが変化しましたが、「変わってはいけないもの」を大事に利用者さんやご家族の皆さんへの支援を引き続きよろしくお願いします。

（どんちっちより）

今後も利用者さん、ご家族の目線を大切にしていきます。

（有識者より）

○転倒事故→救急車要請など大変なご心配だったと思います。大事にならず良かったです。その場にいた職員へのメンタルケアがなされていて安心しました。その職員さんの心痛やいかんと思うと精神的なフォローをされていて温かい職場の雰囲気を感じます。

また、ご家族の方が苦情として呈したのではないであろう発言を「？」と感じ、職員間で話し合いをし、改善される、とても気遣いのできる職場だと感心いたしました。

（どんちっちより）

○温かいご意見を頂き、ありがとうございます。今後も利用者さんやご家族のちょっとした変化を見逃さず、我々に何か対応が可能かどうか、対応したほうが良いのか等、職員間でしっかりと協議して進めていこうと思います。大変貴重なご意見、ありがとうございました。

（地域代表の方より）

○他の老人施設や障がい者施設においても、コロナによる行動制限があり、ストレスを感じておられます。今年度は少しずつ行動範囲も広がり、利用者の皆様も違ってくことと考えられます。他の施設でも転倒はあります。担当職員が変更になった時等に、利用者は同じ行動をされるのですが、付き添い者が転倒を抑えられずに事故に結びつくことがあります。気を付けて下さい。

（どんちっちより）

○なるべく全職員が個々の利用者様に同様のケアが出来るようにしていますが、なかなか難しい

時もあります。しかし、転倒等の事故にならないように職員間でしっかりフォローしようと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

（利用者の家族様より）

○利用日に帰って来る時に鼻歌を歌いながら帰ってきます。よほど楽しかったのか、気分良くしてくださったのか、一日あったことを話してくれます。どんちっちが楽しい時間のようです。

（どんちっちより）

○とても楽しい時間を過ごしてもらっているようで、私どもも大変うれしいです。ずっと笑顔でいていただけるよう、職員一同お待ちしております。